

# 日本ビジネス実務学会 第35回全国大会のご案内

(第2号通信)

## 大会プログラムと参加申し込みについて

拝啓 桜花美しい季節を迎え、会員各位にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、来る6月11日(土)・12日(日)に石川県において開催します全国大会には、多くの会員の皆様から発表のお申し込みをいただき、誠にありがとうございました。

お陰様にて、口頭発表21件・ポスター発表16件、合計37件の研究成果が発表される場を設けることができました。

また、「地域と連携したビジネス実務教育」という統一テーマを受け、地域や産業界を代表する方々を講師やパネリストとしてお招きする「公開プログラム」も設けました。これらを通し、本学会の会員に留まらず、北陸の地域・産業界など様々な立場の方々が集い、従来とは趣の異なる雰囲気の中での情報交流になるのではないかと期待しております。

つきましては、ここに大会プログラムをご案内いたします。また、総会案内・回答はがきも同封いたしますので、こちらについてもご回答のほどお願いいたします。

皆様にとって有意義な2日間となるよう実行委員一同専心努力いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご参加賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

敬具

2016年4月8日

日本ビジネス実務学会  
第35回全国大会  
大会実行委員会  
委員一同

○本号(第2号)通信内容：

- ①全国大会の概要(「第1号通信」と同じ)
- ②大会プログラム(「大会プログラム・研究発表要旨集」は、大会当日配付)

○同封物：

- ①参加申込書
- ②宿泊のご案内
- ③総会案内
- ④総会回答はがき(委任状)
- ⑤るるぶ金沢FREE

# 日本ビジネス実務学会 第35回全国大会の概要

## 大会統一テーマ：「地域と連携するビジネス実務教育」

文部科学省は、大学教育改革を推進するため、大学等が実施する優秀な教育取組に対する支援事業を平成15年度に開始しました。それを「GP (Good Practice)」と呼称し、複数種類のGP事業が実施されました。それらの支援事業は、大学が個別で行う取組から、大学間や地域・産業界との連携事業へと次第に形態を変化させ、今日に至っています。加えて、平成26年度には、大学教育改革の推進を加速させるために、「大学教育再生加速プログラム (AP)」という新たな取組が作られました。更に、平成26年度からは、大学が地方公共団体や企業等と協働して、地域が求める人材養成に対する教育改革取組を支援するという「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC)」が始まり、平成27年度には、同一地域に関係のある大学等も参加して、大学、地域、産業界の全てが連携する地方創生推進事業の第二弾「(COCプラス)」が実施されました。

このような大きな教育改革の潮流の下、ビジネス実務教育においては、キャリア教育を基盤として、「就業力」や「社会人基礎力」の育成充実を目指し、インターンシップの質向上、アクティブ・ラーニングやPBL (Project Based Learning/Problem Based Learning) の教育技法の開発など、さまざまな取組が展開されています。昨年度の第34回全国大会においては、「ビジネス実務教育の新たな展開」を統一テーマに、本学会の会員諸氏によって多くの研究成果が発表されました。

そして、今、「地域と連携するビジネス実務教育」をどのように推進すれば、その地域が求める人材養成に適うのか、学生にとって魅力ある就職先の創出をすることができるのかが問われています。

日本は、世界中のどの国も経験したことがない、超高齢少子社会に突入しています。また、働き方や家族のかたちも多様になってきています。職業の未来についても、今後10年から20年ほどで、現在ある職業の約50%の仕事が消滅し、20年後の若者は、今は存在していない職業に就く可能性が高いという研究もされています。

しかし、どのように職業の種類や働き方が変化しても、人は職業を持ち、夢や可能性を織り込んだキャリアを重ねながら、それぞれの人生を切り開いていきます。

ビジネス実務教育は、職業社会がどのように変化しても必要な「就業力」や「社会人基礎力」という汎用能力の育成を担っているものと自負すると共に、教育界だけの考えに偏ることなく、地域や産業界と連携し、共に育てる教育へと変容できる意識と努力が必要であると考えます。

第35回全国大会は、北陸新幹線開業に伴い、北陸開催への強い要望により、金城大学・金城大学短期大学部が事務局をお引き受けしました。

幸いにも、北陸の地域や産業界を代表する方々を講師やパネリストとして招聘すること叶いましたので、有益な知見や情報をご提供できるものと存じます。

また、研究発表につきましては、従来の口頭発表に加え、実践報告などを気軽に発信できるポスター発表も実施いたします。若手の先生だけでなく、キャリアを積まれた先生方が次世代に知をつなげる場としてもご活用くだされば、本学会35年の実績に相応しい大会になると存じます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

大会実行委員長

岡野 絹枝

# 1. 大会プログラム

【第一日】6月11日(土) 会場：金城大学 笠間キャンパス							
時間	プログラム						
9:50~10:30	受付						
10:30~10:40	開会宣言・大会実行委員長挨拶・日程説明等						
10:40~11:40	総会						
11:40~12:10	白山市からのウェルカムスピーチ【公開】 「白山市の地域振興と産学との連携」 白山市長 山田憲昭 氏						
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">             白山市は、日本三名山の一つである白山から日本海までの豊かな自然と歴史・文化・経済など地域の特性を活かし、交流・連携による協働のまちづくりを推進しています。           </div>						
12:10~13:10	昼食・休憩・出版社展示						
	研究発表						
	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F・G会場	
13:10~13:40	学生の自主的なライティングスキル養成のための支援ツールの活用 1) 毛利美穂 (関西大学)	短大ビジネス系学科におけるメディカルコースの存在意義について 6) 河合 晋 (岡崎女子短期大学) ※	ゼミナール教育の持つ人材育成機能の探究 10) 安齋 徹 (群馬県立女子大学)	コミュニケーション能力の客観的判断に影響する要因についての考察 14) 酒井 健 (大手前大学) ※	中期キャリアを見越しての就業前キャリア教育の研究 18) 齋藤裕美 (多摩大学) ※	ポスター発表	
13:45~14:15	相互評価における学生の評価能力に関する分析 2) 中川雅人 (中部学院大学)	自律的かつ方向性を持った学びを実現する方法としてのカリキュラム 7) 石田麻英子 (札幌国際大学短期大学部) ※	ビジネス実務教育におけるTBL導入による授業改善に関する研究 11) 所 吉彦 (尚絅大学)	マイクロブログ分析を用いた海外向け観光資源発掘に関する実践教育の試み 15) 高原尚志 (新潟県立大学)	就活と職業意識に関する中華民国との比較考察 19) 大重康雄 (鹿児島女子短期大学)		
14:15~14:25	休憩						
14:25~14:55	ループリックのPre-Post比較から見た地域連携型アクティブラーニングの成果 3) 加渡いづみ (四国大学短期大学部) ※	アクティブラーニングを活用した相互交流による『クロス型訪問調査』 8) 江藤智佐子 (久留米大学)	大学生が地域社会を変革する「地方創生モデル」の開発 12) 見館好隆 (北九州市立大学)	「サービスデザイン」の現状とビジネス実務への応用について 16) 町田由徳 (岡崎女子短期大学)	プロジェクト型教育実施における留意点 20) 奥村実樹 (金沢星稜大学)		
15:00~15:30	地域における産学連携への参加から考える教育 4) 片山友子 (四国大学短期大学部) ※	ゼミ活動における長期プロジェクトの実施効果と今後の可能性 9) 牛山佳菜代 (目白大学)	PBL導入型社員教育のプラス側面と大学教育への応用 13) 佐々木公之 (中国学園大学) ※	就職試験における数的処理能力の測定のねらい 17) 樋口勝一 (追手門学院大学) ※	ビジネス実務学原論構築方法論 1 ビジネス実務学の独自性 21) 林 雄太郎 ((一社団)全国日本學士會)		
15:35~16:05	PBL型授業運営における改善施策の中間報告 5) 水野 武 (摂南大学) ※						
~17:00							
18:30~20:30	懇親会 (ANAクラウンプラザホテル金沢) ※バスで移動します。						

## <研究発表の共同研究者>

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| ※3) 片山友子 (四国大学短期大学部)  | ※13) 堀口誠信 (徳島文理大学短期大学部)                                  |
| ※4) 加渡いづみ (四国大学短期大学部) | ※14) 福井愛美 (神戸女子短期大学)                                     |
| ※5) 石井三恵 (摂南大学)       | ※17) 福井就 (大手前学園)・仁平直 (神戸国際大学附属高等学校)                      |
| ※6) 黒野伸子 (岡崎女子短期大学)   | ※18) 佐藤美津子 (クレオジャパン), 長谷川美千留 (八戸学院大学), 田中敬子 (オフィス コムネット) |
| ※7) 小林純 (札幌国際大学短期大学部) |  |

【第二日】6月12日(日) 会場: ANAクラウンプラザホテル金沢	
時間	プログラム
8:30～	受付
9:00～10:00	<p>特別講演【公開】 「際化と創造 —私の歩みきた道—」 株式会社アイザック 取締役最高顧問 中尾哲雄 氏</p> <p>[略歴] 昭和11年 魚津市生まれ。 昭和35年 富山大学経済学部卒業。 株式会社インテック社長、会長を経て、平成27年現職。 富山県教育委員、富山県公安委員長、日本テレコムサービス協会会長、 とやま起業未来塾塾長等 歴任。 現在、富山国際センター代表理事、立山・黒部ジオパーク協会会長、 富山県立大学客員教授、富山大学名誉博士、魚津市及び富山市名誉市民等。</p> <p>「際化」とは、国際化と業際化、学際化等から取り出した造語です。</p>
10:00～10:15	休憩・準備
10:15～11:40	<p>「産官学」パネルディスカッション【公開】 「地域と連携するビジネス実務教育—地域のビジネスを活性化する人材育成—」</p> <p>パネリスト:【産】北陸銀行 経営管理部 ダイバーシティ推進室長 山口秀子 氏 【官】石川県 参与 飴谷義博 氏 【学】日本ビジネス実務学会 会長 椿 明美</p> <p>コーディネーター: 金城大学 教授 北潟克輔</p> <p>地域ビジネス現場の最先端で人材教育・育成に取り組む産・官・学それぞれの立場から、人材育成・人材確保・人材定着支援の視座で、現場の取り組みと課題をお話いただき、意見交換・質疑応答を通して、「地域と連携するビジネス実務教育」に関する参加者各自の新たな課題発見へとつなげます。</p>
11:45～12:00	学会奨励賞発表・表彰式・閉会の辞

☆「公開プログラム」(ウェルカムスピーチ、特別講演、パネルディスカッション)は、  
日本ビジネス実務学会、金城大学・金城大学短期大学部、  
白山市、白山商工会議所の共催です。

## 2. ポスター発表一覧

新設の「ポスター発表」につきましては、16 件のお申し込みをいただきました。発表テーマ及び発表者の一覧を下記します。要旨については、当日配付の「大会プログラム・要旨集」に掲載します。

※申し込み受付順

①熊本ホスピタリティ産業界と連携した長期インターンシップの実践と成果 井上奈美子（熊本学園大学）
②地域と連携した医療通訳実務教育 米本倉基（藤田保健衛生大学）
③学生のキャリア意識調査結果とビジネス実務・キャリア教育へのインプリケーション 小林 純（札幌国際大学短期大学部）、関 憲治、原 一将（札幌国際大学）
④自律的かつ方向性を持った学びを実現する方法としてのカリキュラム 石田麻英子、小林 純（札幌国際大学短期大学部）
⑤主体的な学びを目指したビジネス系カリキュラム改正の取り組み ～簿記・会計フィールドの習熟度別クラス編成の事例を中心に～ 石橋慶一、藤井厚紀（福岡工業大学短期大学部）
⑥診療報酬算定ルールの可視化と医療事務学習教材としての活用 藤井厚紀、石橋慶一（福岡工業大学短期大学部）
⑦地域貢献活動によるコミュニケーション力の育成 -オリジナルうちわ&缶バッチ制作を通して- 菅瀬君子（愛知学泉短期大学）
⑧医事課職員の職場内研修 -バーンアウトに焦点をあてて- 佐藤麻衣（川崎医療福祉大学）
⑨職業実践力育成プログラムの開発 -就業力育成教育プログラムからのアプローチ- 手嶋慎介（愛知東邦大学）
⑩「カミッシュ」づくりと啓蒙活動 清水たま子（滋賀短期大学）
⑪キャリアデザイン教育における教材開発 上田知美（四條畷学園短期大学）、浅田真理子（和歌山信愛短期大学）、岡野大輔（金城大学）、 坂手喜彦（大手前短期大学）、福井愛美（神戸女子短期大学）、水原道子（大手前短期大学）、 宮田 篤（青森中央短期大学）、森山廣美（四天王寺大学短期大学部）
⑫地域病院内のメディカル・クラーク（MC）の医療安全意識 濱島由季、米本倉基（藤田保健衛生大学大学院）
⑬産学連携ゼミナールと社会人基礎力 ～卒業生アンケートから見えてきたもの～ 矢澤建明、若月博延（金城大学短期大学部）
⑭来客対応における感じの良さについて -ビジネスにおける最適なお辞儀の検証 油谷純子、神山直子（目白大学短期大学部）
⑮社会人のためのリカレント教育 ～面接対策講座を生かした学び直し～ 金堂佳永子（金城大学短期大学部）
⑯某短期大学通信教育課程受講生の話す力に対する意識調査 串田敏美（自由が丘産能短期大学）

### 3. 参加申し込み

#### (1) 参加費

※名誉会員の参加費は不要です。

大会参加費 (但し、【公開プログラム】 は、聴講無料)	正会員	7,000円	※当日受付は、8,000円です。
	ビジター	4,000円	※正会員の紹介が必要です。
	学生会員	2,000円	
	非会員	8,000円	
懇親会参加費		6,000円	
昼食代(6月11日)		1,000円	

#### (2) 申し込み方法

本大会の参加申し込みについては、近畿日本ツーリスト株式会社金沢支店に委託しております。宿泊の有無にかかわらず、次の要領でお申し込み及びお振り込みをお願いします。申し込みに関するお問い合わせ先は、以下の通りです。

近畿日本ツーリスト株式会社 金沢支店 「日本ビジネス実務学会第35回全国大会」係 担当：山元 智之(やまもと ともゆき)氏 田中 浩治(たなか こうじ)氏 島崎 愛美(しまざき まなみ)氏 TEL 076-232-0571 FAX 076-232-3228 (営業時間：月～金 9:15～18:00 休業：土・日・祝日)
--

①お申し込み： <申込期間 2016年4月11日(月)～5月9日(月)>  
※現在確保しているホテルの部屋数調整のため、申込期間が短く申し訳ございません。ご協力のほどお願いいたします。

・同封の申込用紙に必要事項をご記入の上、076-232-3228(近畿日本ツーリスト 金沢支店)宛にファックス送信してください。

②お振り込み： <振込期限 2016年5月31日(火)>

・お申し込みいただいた方には、近畿日本ツーリストから「確認書兼請求書」の書面をFAXまたは郵送でお送りします。  
・上記書面でご予約内容をご確認の上、下記口座へ指定日時までにお振り込みください。

<振込口座> 銀行名：北國銀行 香林坊支店 口座名：近畿日本ツーリスト株式会社(キンキニッポンツーリスト(カ)) 口座番号：(普通)0013554
--

◆変更・取り消しにつきましては、行き違いを避けるため、必ずファックスをお願いします。お電話での受付はいたしかねますので、ご了承ください。

◆ご宿泊をお申し込みの方は、別紙「宿泊のご案内」をご覧ください。大会参加申込書に宿泊希望先をご記入ください。「宿泊のご案内」に記載してあるホテルでは、お部屋を確保しております。

### (3) その他

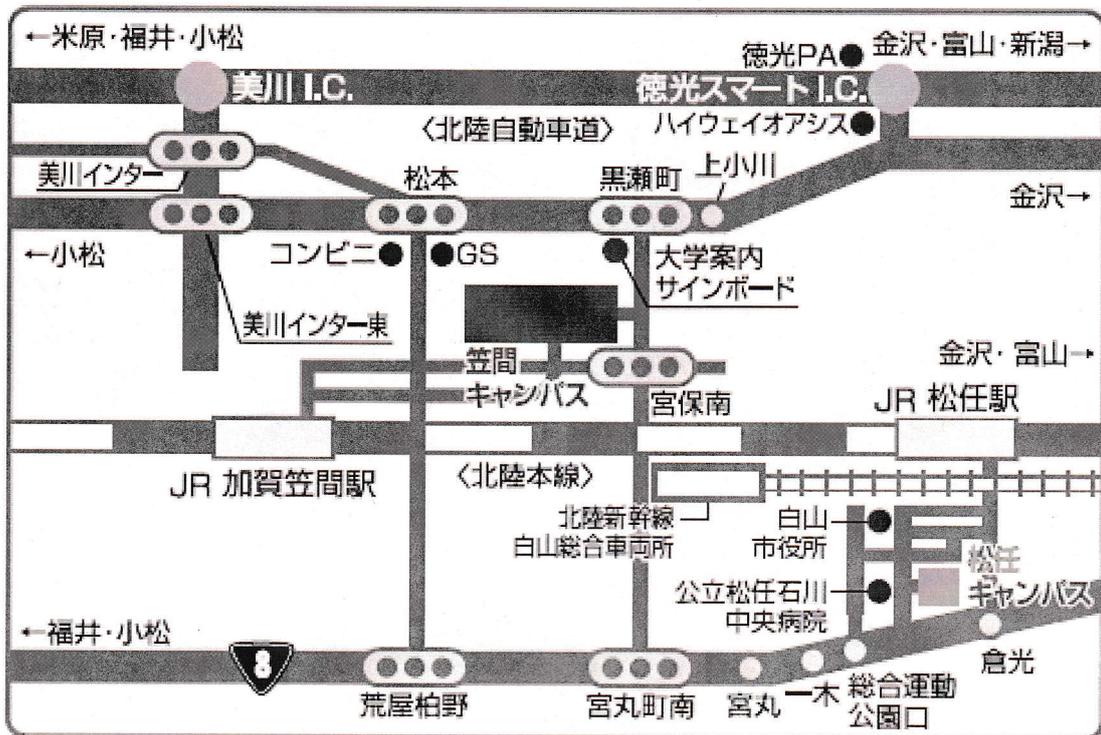
- ①参加費等の領収書は、大会当日、受付でお渡しします。
- ②お申し込み後の参加費等について大会1週間前以降は返金いたしかねますこと、ご了承ください。  
なお、宿泊料の返金については、同封の申込用紙に記載してあります。
- ③要旨集(1部 2,000円)のみご購入の場合は、大会事務局までご連絡ください。大会終了後にお送りします。

## 4. 連絡先

お問い合わせ・ご連絡は、原則 E-メールでお願いいたします。

- ▶ 大会全般：(会場校)  
〒924-8511 石川県白山市笠間町 1200 番地  
金城大学短期大学部内  
日本ビジネス実務学会 第35回全国大会実行委員会  
委員長 岡野絹枝 / 事務局長 若月博延  
TEL 076-276-4411 (代表) / FAX 076-275-4183  
E-mail : jsabs35@kinjo.ac.jp
  
- ▶ 研究発表：(中部ブロックリーダー)  
〒465-8515 愛知県名古屋市名東区平和が丘三丁目 11 番地  
愛知東邦大学 経営学部 手嶋慎介  
(日本ビジネス実務学会 第35回全国大会 研究発表担当)  
TEL 052-782-1241 (代表) / FAX 052-781-0931  
E-mail : tejima.shinsuke@aichi-toho.ac.jp

## 5. 会場までの交通手段



## 所在地

〒924-8511 石川県白山市笠間町 1200 番地 金城大学 笠間キャンパス  
TEL 076-276-4411 (代) FAX 076-275-4183

## 交通のご案内

### <JR利用の場合>

「金沢駅」まで

- ・東京から北陸新幹線利用で 所要時間 2時間 28分
- ・大阪から特急サンダーバード利用で 所要時間 2時間 35分
- ・名古屋から特急しらさぎ利用で 所要時間 2時間 59分

### <航空機利用の場合>

「小松空港」まで

- ・東京（羽田）から 所要時間 1時間 10分（ANA・JAL）
  - ・札幌（新千歳）から 所要時間 1時間 35分（ANA）
  - ・福岡から 所要時間 1時間 25分（ANA・IBEX）
- 小松空港から「金沢駅」までは、小松空港リムジンバス利用で約 40分（1,130円）  
「小松駅」までは、小松バス利用で約 12分（270円）

### <「金沢駅」または「小松駅」到着後の本学までの交通手段>

JR「金沢駅」よりJR北陸本線 14分、「小松駅」よりJR北陸本線 15分の「加賀笠間駅」下車。西口を出て、右方向に徒歩約 10分。

### <自動車利用の場合>

・金沢方面から

国道 8 号線「宮丸町南」交差点を右折して 2 km

・北陸自動車道

美川 I.C で下り、金沢方面へ向かい「黒瀬町」交差点を右折して 1.5 km

## 日本ビジネス実務学会 第 35 回全国大会

**JSABS**  
Japan Society of Applied Business Studies

◆ 会期：2016年6月11日（土）・12日（日）

◆ 会場：金城大学笠間キャンパス

ANA クラウンプラザホテル金沢

\*\*\*\*\*

【大会事務局】金城大学・金城大学短期大学部

【E-mail : jsabs35@kinjo.ac.jp】

〒924-8511 石川県白山市笠間町 1200

金城大学短期大学部

Tel: 076-276-4411(代) Fax: 076-275-4183